

# 簡単に出来るスライドショー

写真にスクロール文字（説明文）や BGM を付けたスライドショーを作ってみましょう。

このソフトが扱える画像は JPEG、BMP 及び GIF に限定されますが、使用できる画像の枚数（バイト数）は無制限です（記録媒体の容量による限度はあります）。勿論、USB に入れることも、CD に焼くことも出来ます。

また、サブフォルダ内の画像も自動表示してくれるので、行事や分野ごとにサブフォルダを作成すれば、順次スライドショーにして表示することも出来ます。

## 始めに

使用するソフトは「xyslide」です。（2008.05.21 版を使用）

「xyslide」フォルダを開くと、次のファイル及びフォルダがあります。

- ・ xyslideW.exe : スライドショーの実行ファイル、撮影日順又はファイル名順に再生します。  
撮影日順かファイル名順かは「startup.txt」で指定します
- ・ hspda.dll : 拡張プラグイン
- ・ hspext.dll : 拡張プラグイン
- ・ sstp.dll : 拡張プラグイン
- ・ autorun.inf : CD のオートラン用 inf ファイル、メモ帳で編集できます。
- ・ startup.txt : 実行時の各種設定をします。
- ・ img : 画像ファイル、画像説明用の txt 及び mp3 ファイルを入れるフォルダ  
「xyslide」を DL した場合、img フォルダの中にはサンプルの画像（jpg 等）や画像説明文（txt）などが入っています。上記「xyslideW.exe」を実行すると、サンプル画像が表示されます。  
スライドショーを作成する場合は、「img」フォルダの中を空にしてから、新規に始めること。（講習会では空のものを使用します。）
- ・ bgm : BGM 用の mp3 ファイルを入れるフォルダ  
このフォルダの中にも、当初はサンプルの音声ファイル（mp3）と ReadMe（txt）が有ります。上記「xyslideW.exe」を実行すると、サンプル音声流れます。  
スライドショーを作成する場合は、「bgm」フォルダの中を空にしてから、新規に始めること。（講習会では空のものを使用します。）
- ・ その他 : 「ReadMe.txt」、「はじめにお読み下さい」及び「xyslide0001.txt」ファイルがあります。使用等の説明です。
- ・ 旧バージョン : 「xyslide」を DL すると、このフォルダも入っています。フォルダの中には旧バージョンの実行ファイル等が入っていますが、講習会では必要ないので、削除しています。

1、画像だけのスライドショーを作成する

「xyslide」フォルダを開き、サブフォルダ「img」に画像を取り込む  
画像（jpg 等）を選択し右クリック 「コピー」を実行 「img」フォルダを開き、右  
クリック 「貼り付け」を実行

（参考）「img」フォルダの中に、サブフォルダ（フォルダ名は任意）を作成して画像を入  
れると、「img」直下の画像と併せて、スライドショーで表示することができる。

2、画像だけのスライドショーを実行（動作確認）する

スライドショーの動作確認

「xyslide」フォルダ内の実行アイコン（xyslideW.exe）をダブル  
クリックして、スライドショーが実行されることを確認する。



スライドショーを終了する

画面上でクリックすると「メニュー」が表示されるので、「終了」ボタン（メニューの最  
下部）をクリックする。

（注）クリックして表示されるメニューについては、「8、画面表示メニューについて」を参  
照のこと。

3、スライドショーで表示する画像の順番について

「xyslideW.exe」で実行するスライドショーは、「撮影日時順」又は「名前順」で表示す  
ることが出来る。

「撮影日時順」の場合は、実行ファイルが画像データから撮影日時データを読み込んで、  
実行する。

「名前順」に実行する場合は、画像の名前に番号を付ける等、順序を明確にしておく。

画像を選択し右クリック 「名前の変更」 名前を入力する（例：0001xxx.jpg）  
すべての画像に対して実行する

4、スライドショーに説明文を入れる

画像ごとにスクロール文字（説明文）を付ける

「テキストドキュメント(.txt)」を起動し、画像の説明文を 1 行で入力する 「名前を付  
けて保存」 説明対象の画像ファイルと同じ名前（例：0001xxx.txt）を付けて、「img」  
フォルダへ画像と一緒に保存する。（説明文は画像ごとに作成する。）

（注）名前を付ける時、全角文字と半角文字は別文字として認識されるので、注意して入力  
すること。

2 行目は認識しないので、必ず 1 行に入力すること。

画像ごとに停止文字（説明文）を付ける

上記 4 - と同じ様に説明文を作成し、文章の頭に半角英文字で「&」を入力すると停止  
文字となる。 同一画像にスクロール文字と停止文字を併用することは出来ません。

5、スライドショーに BGM を入れる

「bgm」フォルダに音楽ファイル（mp3 に限る）を取り込む。

「mp3」ファイルを右クリック 「コピー」を実行 「bgm」フォルダを開く 右  
クリック 「貼り付け」を実行

## 6、スライドショー実行方法の設定

「startup.txt」ファイルを使って、スライドショーの各種設定を行うことが出来る。

実行方法の設定は、当該ファイルの 1 行目で行う。



## 【startup.txt】の内容説明

1105335n099 . . . . . ここで設定します  
 撮影日 無 0 有 1 . . . . . 1 (撮影日表示)  
 BGM 無 0 有 1 . . . . . 1 (BGM あり)  
 音声 無 0 有 1 . . . . . 0 (ナレーションなし)  
 表示時間 2秒 2 5秒 5 7秒 7 10秒 0 . . . . . 5 (画像表示 5 秒)  
 字幕大きさ 無 0 小 1 中 3 大 6 . . . . . 3 (中文字で表示)  
 字幕早さ 低速 1 中速 2 高速 3 . . . . . 3 (高速でスクロール)  
 字幕色 自動 0 白 1 黒 2 赤 3 青 4 緑 5 . . . . . 5 (字幕の色、緑)  
 再生順 撮影順 d ファイル名順 n . . . . . n (ファイル名順で表示)  
 再生回数 エンドレス 0 一回 1 . . . . . 0 (エンドレスでプレイ)  
 効果 無し 00 ランダム 1 99 ランダム 2 98 . . . . . 99 (画像変換時の効果、  
 画像ごとに変える)

効果については、「startup.txt」を参照のこと

この設定は、実行ファイル「xyslideW.exe」を起動した時に反映されます。

## 7、個別の画像に独自の設定をする

前記 3 で作成した説明文 (txt ファイル) の 2 行目に、前記 5、「startup.txt」ファイルの 1 行目に準じた記述をすると、当該画像のみに設定が反映される。

11桁の英数文字 (例: 1105335n099) で指定する。

## 8、画面表示メニューについて

Xyslide スライドショーを起動中に、画面をクリックすると表示されるメニューの説明です。このメニューは実行中のスライドショーに一時的に適用され、スライドショーを終了すると解除される。

設定を恒常的に実行させる場合は、上記 6 の「startup.exe」ファイルで設定すること。

- ・ この表を閉じる . . . . . メニューを閉じる
- ・ 前画面 . . . . . 一つ前の画面を表示する
- ・ ジャンプ . . . . . ダイアログでジャンプ先の番号 (順番) を指定して、その画像にジャンプする
- ・ 次画面 . . . . . 一つ後の画面を表示する
- ・ 撮影日表示 . . . . . クリックして、「撮影日」(画面左上) を非表示又は表示する
- ・ 表示時間 2 . . . . . 表示時間を 2 秒間に設定する
- ・ 表示時間 5 . . . . . 表示時間を 5 秒間に設定する
- ・ 表示時間 7 . . . . . 表示時間を 7 秒間に設定する
- ・ 表示時間 10 . . . . . 表示時間を 10 秒間に設定する

表示時間は 4 項目のうち 3 項目が表示され、適用中の時間は表示されない。

- ・ 音量調節・・・クリックすると Windows の「Volume Control」が開くので、音量を調節することができる
- ・ 名前順再生・・・クリックすると名前順に再生する
- ・ 撮影順再生・・・クリックすると撮影日時順に再生する
- ・ ファイル順・・・ファイルの順に再生する（名前順とほぼ同じ）  
再生順は 3 項目のうち 2 項目が表示され、適用中のものは表示されない。
- ・ BGM 次へ・・・複数の BGM を切り替える
- ・ BGM off (on)・・・クリックして BGM の ON と OFF を切り替える
- ・ 音声 off (on)・・・クリックして音声の ON と OFF を切り替える
- ・ 一回再生（エンドレス再生）・・・クリックして再生回数を指定する
- ・ 字幕設定・・・クリックするとダイアログで字幕（スクロール文字）の設定が出来る。  
字幕の大きさ 「小」「中」「大」「無」  
字幕の速度 「低」「中」「高」  
字幕の色 「自動」「白」「黒」「赤」「青」「緑」
- ・ 原寸・・・画像を原寸大で表示する、右クリックすると元に戻る
- ・ 終了・・・スライドショーを終了する

## 9 . ミニ講習で使用する画像などについて

ミニ講習で使用する画像、BGM は用意しますが、自分の画像等を使って作成したい方は、画像（jpg、bmp、gif に限る）5~10 枚程度、音楽ファイル（mp3 に限る）1~2 曲を持参してください。

ミニ講習が終了後、USB メモリーなどにスライドショーを保存することも可能です。

なお、デジカメ動画（avi、mov）も扱えますが、講習会では使いません。

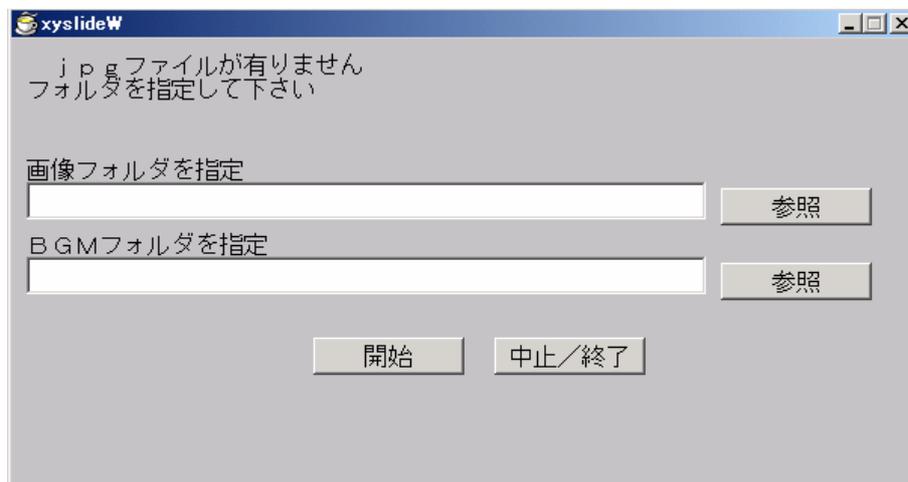
## 【参 考】

### 1 . 「img」フォルダに画像がない場合

「xyslide.exe」などを実行すると、画像フォルダの指定を促すダイアログ（下図）が立ち上がるので、「参照」ボタンをクリックして画像フォルダを指定する。

合わせて、BGM 用音楽フォルダを指定することが出来る。

「開始」ボタンを押してスライドショーを開始する。



2. 複数のスライドショーを作成する場合には

一般的に、一度ソフトをインストールすると、そのソフトを起動させて幾つでもスライドショー(ファイル)を作成することが出来ますが、このソフトはスライドショー(ファイル)ごとに実行ファイル等(ソフト)が必要です。

従って、新たなスライドショーを作成する場合は、「xyslide」フォルダごとコピーして、「img」及び「bgm」(フォルダ)に新たな画像、音楽などを入れて作成します。

3. スライドショーを CD に焼き付ける (Windows XP の場合)

「xyslide」フォルダの内容を CD に焼付けて、スライドショーを楽しむことが出来る。

「xyslide」フォルダを開き、内容をすべて選択し、右クリック 「送る」をクリック  
- 「CD ドライブ」をクリックする。 (「xyslide」フォルダ自体は焼き付けないこと。)

CD ドライブに CD を挿入

エクスプローラーの「CD ドライブ」を開く 「CD 書き込みのタスク」の表示の下にある「これらのファイルを CD に書き込む」をクリックして、書き込みを開始する。

4. 画像にナレーションを付ける

「サウンドレコーダー」を起動し、マイクロフォンからナレーションを録音する。

「サウンドレコーダー」は、「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」から開くことが出来る。

(注) 音声ファイルは「mp3」で取り込むこと。また、録音はパソコンにサウンドカードがインストールされていることが必要です。取り込み方法は自習して下さい。

「img」フォルダの中に、ナレーション (mp3 ファイル) を取り込む

Mp3 ファイルは、説明文ファイルと同様に、対象となる画像ファイルと同じ名前を付けて取り込む。(例: 0001xxx.mp3)

5. ソフトの入手先

最新版をベクターから DL することが出来ます。(サンプル画像付です)

URL は

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se367551.html> です。

今回説明した以外にも、種々の設定・使い方が出来ます。「ReadMe.txt」などを参考にし各自トライしてみてください。

なお、2008.05.21バージョンには、「旧バージョン」のフォルダがあり、旧バージョンの実行ファイル等が保存されています。従って、「ReadMe.txt」には旧バージョンの説明も合わせて記載されているので、混同しないよう注意が必要です。

最終編集：2008/06/04